

# 地質情報

地質調査所  
地質情報センター

今月も最近刊行された地質図と地質調査所月報の内容を紹介いたします。

## 糠内地域の地質（5万分の1）

山口昇一・佐藤博之

北海道十勝平野南部の主として新第三系・第四系の分布する地域の地質図である。中央部には、ジュラ紀—白亜紀前期の豊頃層を基盤として、中新統からなる複背斜構造がほぼ南北に走り、東部と西部には鮮新統・更新統が南北のゆるい背斜・向斜構造を形成して分布している。西部の猿別川ぞいには、多数の河岸段丘が発達している。

(1989年12月25日発行)

## 宇和島（20万分の1）

寺岡易司・栗本史雄

四国南部の四万十帯北帯から南帯にかけての地質図である。北帯には主として白亜系、南帯には古第三系～中新統が分布するが、それらが前者は2亜帯、後者は3亜帯に区分されている。北帯は北東—南西、北西—南東、東西方向の断層によって地塊化していることが示されている。地紋によって岩相がよみとれるよう工夫されていて、豊富な化石の産出ともあいまって、複雑な四万十帯の地質を示す典型的な地質図の一つであろう。

(1989年10月31日発行)

## 名寄（20万分の1）

山口昇一・渡辺 寧

この地質図は、北海道北部のいわゆる北海道中軸帯北部のものである。中央部をほぼ南北に流れる天塩川にその盆地を境に、西部部には、白亜系の蝦夷層群とこれを不整合におおう中新統が広く分布する。蝦夷層群に接して神居古譚変成岩類・蛇紋岩の分布が認められる。東半部には白亜系の日高層群、北部には中新統の火山岩が広

1990年4月号

く分布する。

(1990年1月31日発行)

## 鳥取沖海底地質図（20万分の1）

山本博文・上嶋正人・岸本清行

鳥取県から兵庫県の沖合の東西約90km、沖合へ約120kmにおよぶ隠岐舟状海盆とその周辺地域の地質図である。地層は、大きく中期～後期中新世の香住沖層、前期～中期鮮新世の浜坂沖層群、後期鮮新世—完新世の鳥取沖層群に区別され、浜坂沖層群と鳥取沖層群は更に上下に2分されて表現されている。香住沖層はゆるい褶曲構造を呈するが、浜坂沖層群・鳥取沖層群は一般に盆状構造を示し、両者は不整合関係で接する。隠岐舟状海盆には広く乱堆積物が分布することが示されている。断面図が東西に3本、南北に3本切られていて、層序と地質構造の理解を助けてくれる。その他に同縮尺のブーゲー重力異常図・フリーエア重力異常図・地磁気異常図、また27ページの説明書も付されている。

(1989年12月25日発行)

## 地質調査所月報 第41巻第2号 1990

Yoshio INOUCHI: Origin of sand and its distribution pattern in the Seto Inland Sea, Southwest Japan .....49  
鈴木尉元・佐藤岱生・金子信行・影山邦夫・矢崎清貫  
宮崎平野新富町の坑井の地質—宮崎層群の花崗岩質基盤.....87  
巖谷敏光: 宮崎県尾鈴山酸性岩類の石英の転移温度...93  
地質調査所研究資料集, No.138

## このほか以下の刊行物が出版されました

地質図目録図 1990年版  
地質調査所年報 昭和63年度  
物理探査・調査研究一覽 第32集  
地質文献目録 1982, 1985  
地質調査所報告 No. 271

「日本の地熱調査における坑井データその1」

## 地質調査所の出版物について

問い合わせ: 地質情報センター情報管理普及室

Tel. 0298-54-3601

購 入: 地質標本館

Tel. 0298-54-3750

東京地学協会

Tel. 03-216-0809

日本産業技術振興協会

Tel. 0298-52-3389

地学文献センター

Tel. 0423-84-6875